

相談 & サービス連携チーム

～相談支援専門員とサービス管理責任者がよりよく連携するために～

相談 & サビ管連携チームについて

設置日：令和 4年 6月 13日

内容：①課題集約・場の設定プロジェクト

②情報集約プロジェクト

③チェックリストをもっと簡単に活用しようプロジェクト
を立ち上げるチーム

相談 & サビ管連携チームメンバー

プロジェクトリーダー	澤 幸恵	(就労移行支援・B型ワークシフトみしま)
------------	------	----------------------

サブリーダー	塩川健太	(相談支援事業所 ふぁいん)
--------	------	----------------

メンバー	名倉むつみ	(就労移行支援・A型アスミール)
------	-------	------------------

	勝又美智子	(就労継続B型 まごごろ)
--	-------	---------------

	遠藤通紀	(生活介護 おんすいち)
--	------	--------------

	芦川 渉	(生活介護 みはらしの里)
--	------	---------------

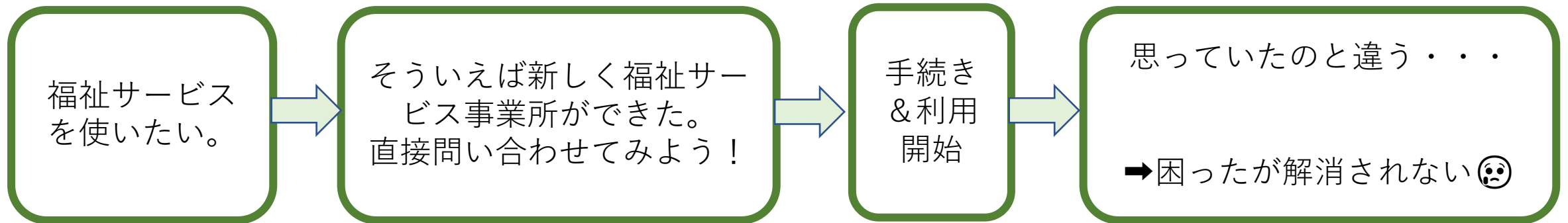
	伊藤田恵子	(相談支援事業所 ひまり)
--	-------	---------------

	涌井京子	(相談支援事業所 けるん)
--	------	---------------

	山口幸子	(相談支援事業所 リベルテ)
--	------	----------------

相談支援専門員とサービス管理責任者の連携での課題

- 連携については今までも課題に上がり、取り組んできた。
- 新しく相談員やサビ管になった人にとってはこれから連携を深めていく必要がある。



相談支援専門員が十分に
アセスメントする前に
事業所利用の話が進んでしまう

サービス管理責任者は生活全体の状況
を見て、サービスがっているのか相
談するタイミングを逃してしまう



サビ管さんから早めに相談をもらっていたから、利用体験時に様子を見ることができてよかった！困りごとの解決ヒントがサビ管さんに相談できた。

相談員さんがしっかりニーズを把握して、ご本人もサービスの趣旨を理解してくれている！早速、困りごとの解決への支援をスタートしていけそう。

利用者さんの安心できる暮らしのために、相談支援専門員とサービス管理責任者がすぐに相談しあえたり、適切な情報共有をする関係が大切！

そのために・・・

相談＆サビ管連携チームを再び立ち上げ、そのチーム内で下記の3つのプロジェクトを立ち上げました

- ①課題集約・場の設定
- ②情報集約
- ③チェックリストの活用
(以前行ったプロジェクト作成)



課題整理・場の設定プロジェクト

設置日 : 令和 4年 9 月 6日

内 容 : 市内にある既存の集まる場（連携会議・きょうどう隊・研修など）の機会に相談員とサビ管がつながる機会が持てるか検討する。
つながりを強化するために、どんな参集の形が効果的か探る。

メンバー :

プロジェクトリーダー 勝又美智子 (就労継続B型 まごごろ)

サブリーダー 涌井京子 (相談支援事業所 けるん)

メンバー 伊藤田恵子 (相談支援事業所 ひまり)

杉本和輝 (就労継続 A 型 リベラインダストリア)

松木洋平 (相談支援事業所 ふぁいん)

課題整理・場の設定プロジェクトの進め方

現在ある集まりの場を 把握する

- ・相談支援専門員の連携会議
- ・三島市スキルアップ研修
- ・きょうどう隊の活動 など。

活用できそうな場を 整理する

- ・もともとの参加者以外で参加可能か
- ・共通の話題や困りごとを議題として扱えそうか検討
- ・市内の研修に合わせて、参集の場を設定できそうか検討

集まる場の設定

- ・新しく相談員やサビ管になった人とも関係づくり
- ・どんな場であれば参加しやすいか（時間帯・場所、リモート含む）
- ・相談支援専門員とサビ管が連携する際の課題の共有

課題整理・場の設定プロジェクト 今後の予定

① アンケートを実施予定

(対象者)

- ・三島市内の全相談員とサビ管

(アンケートの内容)

- ・どんな時間帯なら集まりやすいか？
- ・参集型が良いか？リモートが良いか？
- ・サービスを提供する上で、困っていることはなにか？

② アンケートをもとに、場の設定を行う

- ・普段、顔を合わせる機会が少ない人をつながる
- ・大人数で集まるのが良いのか、より個別に近い形でつながるのが良いのか検討
- ・連携会議に合わせてできる事はないか

課題整理・場の設定プロジェクト 今後の予定

③課題の共有を通して、つながりを深める

場の設定をすることにより、
一緒に悩んで考えていけるような仲間づくりを行う。
その過程で見えてきた課題を集約し、
見立てや考え方の共有につなげていく。

情報集約プロジェクト

設置日 : 令和 4年 9 月 6日

内 容 : ①事業所リストの作成検討
②研修や情報集約の場での企画と運営

メンバー :

プロジェクトリーダー	遠藤通紀	(生活介護 おんすいち)
サブリーダー	芦川 渉	(生活介護 みはらしの里)
メンバー	山口幸子	(相談支援事業所 リベルテ)
	鈴木弓子	(相談支援事業所 ステップ)
	秋庭好江	(グループホーム ソーシャルインクルー)
	大木崇央	(グループホーム ソーシャルインクルー)
	大庭徹子	(就労継続B型 さわじ作業所)

情報集約プロジェクトの進め方

すでにまとめたある情報を把握する

- 既存の情報リストに何があるかを把握する
- 既存のリストが、相談とサビ管が連携する上で必要な情報共有ができるか確認する

情報交換と 現状リストの整理

- ネットワークミーティングの分科会で情報収集する
 - 相談・サビ管の悩みの共有をし、より良い連携をするためのアイデア出し
 - どんなリストが必要かの情報収集
 - 現状で使えるリストを把握する

リスト作成を検討

- 情報交換で収集した情報をもとに連携に活用できるリスト作成を検討する

情報集約プロジェクト 今後の予定

①ネットワークミーティングの分科会の出欠確認の際にアンケートを実施

(アンケート項目)

- ・ 今、使っているリストの把握
- ・ 今後どんなリストがあると**連携**に活用できるか
- ・ 相談、サビ管お互いに連絡を取り合う場面はどんな時があるか

②分科会で行う予定の内容

- ・ 現在使えるツール紹介
- ・ 相談&サビ管で情報交換会
(使っているリストの共有・どうしたら連携時に知りたいことがわかるリストが作成できるかのアイデア出し)
- ・ 連携できるようになるためにお互いに知っておいてほしいことの共有

③分科会の結果を踏まえて、どんなリストを作成するか検討する

情報集約プロジェクト 今後の予定

**リスト作成に向けて、相談&サビ管が
連携を深める。**

**作成したリストを使い、よりスムーズ
に連携できるようになる。**

チェックリストをもっと簡単に活用しようプロジェクト

設置日 : 令和 4年 9 月6日

内 容 : ①チェックリストを使った実践
②簡易版の作成を検討する
③活用方法の紹介資料を作成する

メンバー :

プロジェクトリーダー 名倉むつみ (就労移行・A型アスミール)

サブリーダー 塩川健太 (相談支援事業所 ふぁいん)

メンバー 石垣明子 (相談支援事業所 さくらキャンプ)

澤 幸恵 (就労移行・B型ワークシフトみしま)

チェックリストをもっと簡単に活用しようプロジェクトの進め方

チェックリストの確認

- 前回のプロジェクトで作成したものを改めて確認
- サイズの見直し

簡易版の作成

- チェックリストに相談員、サビ管共に共通理解しておいた方が良いことを載せ、どのタイミングで連携したらよいかを記載する

連携時に活用

- A4にまとめ、サービス開始前後のすり合わせに使う
- 連携する上で共通の情報が持てる

チェックリストをもっと簡単に活用しようプロジェクト 今後について

① 簡易版の訂正を行い、プロジェクト内で一度使ってみる。

実際のケースではなく、事例をもとにチェックリストを見て、スムーズに実施できそうかを確認する

② 連携会議などで、チェックリスト簡易版へのご意見を伺う。

相談員の方が参加する連携会議の場で、チェックリストを見ていただき、内容や書き方に問題がないかを確認。

③ 各所からもらった意見をもとに訂正版を作成し、完成させる。

④ 訂正版を各事業所や相談支援専門員に共有する。

チェックリストをもっと簡単に活用しようプロジェクト
今後について

**チェックリストを活用し、
サービスの利用開始前の情報共有や
役割分担に役立てる。**

相談 & サビ管連携チームは

3つのプロジェクトを通じて
相談員とサビ管の連携を深め、
より良いサービス提供ができる
ようにしていきます。



TeamWork